東福保育園　　2歳児

年間テーマ	色
探求テーマ	色々な模様を楽しむ（どんぐりのころがし絵）

子どもの姿	・生活の中で色の名前を知り言ってみる。 ・同じ色、違う色などを意識している。
「問い」を考える	・どんぐりが転がった後、どんな模様になるか？ ・自分が何色を使いたいか。
活動をデザインする	・どんぐり公園に行き、大きいどんぐりや小さいどんぐりを見つけて、集めることを楽しむ。 ・自分の好きな色の画用紙や絵具を選んでどんぐりのころがし絵をして遊ぶ。
環境をデザインする	・季節に合わせた色の画用紙を用意して、子どもが自分で選べるようにする。（茶色、オレンジ、赤、きいろ） ・画用紙の大きさに合わせたトレーを用意して子どもが持って動かせるようにする。 ・台紙に映えるピンク、水色、白の絵具を用意する。
小グループを構成する	・少人数で行うことで、一人ひとりの言葉や仕草に気付けるようにしたり、子ども同士のやり取りにも目を向けていく。
振り返り	色の遊びや活動を続けてきたことで、子どもたちが色を意識しはじめ、何色か言う子も多くなっている。秋になってどんぐりや落ち葉などの自然物に多く触れ、集めることを楽しんでいるので集めたものを活動に活かしたいと思った。 絵具の中に入ったどんぐりを見て、不思議そうにしたり、ころがさずに持って筆のように色をつけたりする子もいた。今回、台紙の色と絵具の色が、同じになってしまった子もいるが、自分の使いたい色で楽しめたので良かった。一つひとつの色が混ざったことに気づいた子もいた。「これ、何色だろう？」そんなことばが出てくるような遊びができればと思う。どんぐりの動きなどに目を向ける子もいた。そこから季節の遊戯や模倣遊び、運動遊びなどにもつなげていくようにしたいと思う。

2025年　　10月　　16日（木）

子どもの言葉・姿	写真
・どんぐり転がしは今年初めての活動だったので、どんぐりの転がる様子やできた模様などをじっと見ながらやっていた。 S「（ピンクが好きだから）ピンクでやるんだ！」 「やっぱり全部やっていい？」 自分で次々に違う色のどんぐりをトレーに入れてころがして楽しむ。全色でできたことで満足する。 T「あっちこっち行っちゃうね」 横に傾けるだけでなく、前後にも傾けたりしていろいろにころがして楽しむ。 T「いろんないろができるね」 K「きいろがいいんだ。きいろにする」 「おんなじ色（で、見えないね）」 次は見える色にしたので、模様が見えて嬉しそうだった。 模様が重なるように、横や縦にトレーを動かしてどんぐりの動きを目で追う。 自分の手でどんぐりを転がそうとする。 Y「（みんなどうやってるのかな）」 まわりの友だちを見てみる。 次の色のどんぐりでは、友だちと同じようにトレーを動かして、模様を見て楽しんだ。 Y「色が混ざったね」 「見てみて、これなんだと（何色だと）思う？知ってる？」 友だちに聞いていた。	